



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

―「すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために」―

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

### ■ふくしまゼロカーボンアワード2025(学校版)

福島県立平工業高等学校生徒会代表顧問の大槻成志さんは、福島県が主催する福島ゼロカーボンアワード2025(学校版)で2年連続で知事より表彰状をいただいた喜びを「生徒はもちろん、地域の人たち、PTA、校長先生や同僚の先生方、みんなの協力があったて受賞できました」と語ります。2000年から続けているアルミ缶回収による老人ホームへの車椅子の寄贈(24年間で47台)や、2006年から始めた高校卒業後に不要となったジャージや運動靴をアフリカのマリ共和国へ送る活動などが、高く評価されました。

### ■「すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために」

「内堀知事から最優秀賞をいただいた翌日、深澤剛校長先生に受賞報告させていただきました。その際に今後も活動が続け、次の世代の高校生や他校の生徒のみなさんにも活動を伝えてください、と激励をいただ

きました」。表彰式は1月25日、福島県自治会館で行われました。大槻さんの名刺には「すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために」と印刷されています。これは「本校生徒会の活動理念です」。

### ■スポGOMI甲子園2025福島大会

2025年10月18日に、JRいわき駅前を会場にして「スポGOMI甲子園2025福島大会」が開催されました。7校から28チームが参加しましたが、平工業高校「☆GTO☆」チームが優勝しました。清掃活動を通して地域と関わり、福祉施設に車椅子を寄贈しておりますが、その時の「人生の先輩でもあるおじいさん、おばあさんの笑顔が忘れられません」と大槻さんは熱く語ります。

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

いわき市出身の大槻さんは、自然の状態が維持されている三崎(みさき)公園が大好きです。しかし、海沿いなどで海が汚れていくことを憂慮しています。「駅周辺や海岸などの地域清掃活動に力を入れていきたいですね」。家庭でも学校と同じように3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動として、ペットボトルのキャップや古着など資源ごみの回収をしています。皆さんの歩む未来が、持続可能な社会の実現につながることを願っております。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>